

【緑地の樹】

ヤマハゼ<山黄櫨>

プロフィール：ウルシ科 ウルシ属
中央広場左側の山側にあります。

児童公園側入り口から入って道なりに進み中央広場に下りると、下りて来た左側斜面にヤマハゼが1本あります。

似ているので、私はずうっとナナカマドと間違えていました。ナナカマドは北海道や東北で街路樹としてもよく植えられていて、秋の、真っ赤な紅葉とまとまった小さな赤い実が目立つので、ご存知の方が多いかもかもしれません。

ヤマハゼはナナカマドと違って、暖地の山地に生える高さ3～6mの落葉小高木。ウルシ属ですが、ハゼはあまりかぶれないそうです。細長く先が尖った5～7cmの小葉が4～5対ある、藤の葉の様な奇数羽状葉。雌雄異株で、5～6月に黄緑色の小さな花が咲き、11月頃、1cm位の黄褐色の実が少しばらけた房状にぶら下がるが、どちらも余り目立ちません。



しかし、葉はナナカマドと同様に真っ赤に紅葉して落葉も目立ちます。木芯は鮮黄色で、染料になるそうです。前に中央広場下の西斜面でヤマハゼの枯木を切って運びましたが、切ったばかりの木芯の鮮やかな黄色に驚きました。今回紹介したヤマハゼは条件が良くないのか、細くてヒョロヒョロしていますが、落ちていた実も見つけたので雌木でしょうから、いつか新しい木が生えるかもしれません。

(星)



秋には真っ赤になります